

9月議会 一般質問

9月議会の一般質問で主張したかった事を要約したいと思います。
実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



越境した竹木の切り取りについて

【市民からの相談】

隣の空き地から竹や木が伸びてきて自宅の屋根を壊しているのなんとかできないか。竹や木を切って欲しい。



【市の対応】

隣の空き地の所有者へ適正な対応をするようお願いの書面を送っている。

【法的に出来る事】

1☑催告書を送ってから2週間以上対応がなければ被害側が勝手に越境した竹木を切る事ができる。

☆催告書の記載事項の例①被害の状況②期間内の切除の依頼③期間内に対応していただけない場合に越境された土地の所有者自身が竹木を伐採する旨を記載

2☑最終的には民事裁判

(旭市では毎月2回無料法律相談がある。予約制。詳しくは☎0479-62-5396)

☆思う事☆

・民事裁判は時間的にも経済的にも負担が大きい。行政にもっと積極的に関わって頂き、問題解決に協力して欲しい。せめて催告書の送付の手伝いをして欲しい。

上下水道の安定供給について



【現状と水道課の方針】

5年間で大きな断水が4件あった。法定耐用年数を超える水道管の割合は令和4年度15.3%、令和9年度53.7%、令和14年度63.1%になる。令和3年度の耐震化率は4.4%と低いが、水道事業が始まったのが近隣市より遅く、更新時期を迎えていない水道管が多い事が要因。水道管の更新は多額の費用と期間を要するため実使用年数に基づき計画的に更新していく。

☆思う事☆

・これから老朽化が進むと更に漏水が増えて断水になる事態が増えるのではないかと憂慮している。計画を前倒して進めていくべきだと思うが、予算やマンパワーの関係で難しいとの事。少しでも断水のリスクを減らすために実使用年数での更新だけではなく、劣化診断をしてリスクの高い個所から更新していく方法も考えられるのではないだろうか。先進事例としてAIや人工衛星を活用した水道管の診断や漏水調査があるのでご検討をお願いしたい。

七夕市民まっりの交通規制について

【問題】

七夕の交通規制の時間 事前の周知 18時～22時

実際の交通規制 6日・・・17時50分～21時30分

7日・・・17時30分～21時15分

①事前の周知より規制が早まった事や、直前の変更だったため混乱が生じた。

②救急車による急病者搬送事案があったため予定より開始が15分ほど遅れた。最後の団体が終わらないまま電気を消し撤収を急がせたのは正しかったのだろうか。

③パレードが終わったらすぐに交通規制が解除された。もう少し余裕があっても良いのではないか。まつりの後の余韻を楽しみたいという声がある。

【理由】

交通規制の権限は警察にある。規制開始時間が早まった理由は会場周辺の混雑状況を見て判断した。規制解除が早まった理由はイベントと片付けの状況を確認しての判断。規制エリアの安全を第一に考えての実施。4年ぶりの通常開催だったので従前のノウハウが途切れてしまった。

☆思う事☆

・規制の開始時間が「安全のため」に早まった事は納得できるが、規制解除が早まった理由はわからなかった。あえて推察するならば、市街地中心部の交通規制は影響が大きいので、なるべく短くするべきだというのが原則にあるように感じる。しかし、アクシデントによって遅れた場合は柔軟に対応して欲しかった。「〇分後までに〇〇に移動して終了して下さい」と言われても100人を超える大所帯で神輿を担いでいるので無理がある。逆に危ない。安全のためというなら10分延長して通常のスピードで運行する事が適切だったのではないか。21時に終わらせる事が目的になってしまいイベントの参加者をないがしろにしているように感じた。来年は規制時間を周知する前に十分に話し合ってもらい、余裕をもったスケジュールを立てて欲しい。

福島第一原発の処理水放出について



【国の対策・対応】

①水産物の販路拡大費用、買い取り、冷凍保存などに必要な借り入れ金利など 300億

②漁業者が漁業を続けられるように支援する基金 500億

③中国への輸出依存から転換するための販路開拓支援 207億

◎風評被害が発生した場合の損害賠償は東京電力が負う。賠償金の対象業種は、漁業、水産加工業、水産卸売業、農業、観光業が想定されている。その他の業種も適切に対応。

☆思う事☆

・処理水を汚染水と言ったり科学的な根拠もなく不安を煽ったりする事は国益を損ねるのでやめて欲しい ⇐ 一部の国会議員に対して

・市内業者で被害が出ていないか注視とサポートをお願いします。



議員研修

先日、子宮頸がんワクチンについての講義を受けて激しく共感したのでお伝えしたいと思います。長文にすると伝わりずらいと思いますのでキーワードだけ述べます。

- ・子宮頸がんの患者数 **年間約1万人**
- ・子宮頸がんで亡くなる女性の数 **年間約3000人**
- ・子宮を失う人も沢山いる
- ・**20代～40代**の患者が多い
- ・ワクチンで高確率の予防ができる
- ・ワクチンは3回接種【一回目】→2か月→【二回目】→4か月→【三回目】
- ・小学6年生～高校1年生はワクチンを無料で受けられる

↓↓↓これが一番大事↓↓↓

- ・**1997年4月2日～2008年4月1日生まれ**の女性は
2025年3月末までは無料！！

それ以降は**有料**（3回で5万～10万円）

出典：日本産科婦人科学会

【講義を受けての感想】

2013年、日本では副反応による健康被害が大きく取り上げられ子宮頸がんワクチンの接種がほぼ中止になった。ワクチンを推奨している外国と比べて子宮頸がんの発生率、死亡率が著しく高い。若い女性、生れてくる子ども、大事な子宮、これらが「知らなかった」という理由で失われている。ワクチンを接種し、20歳を超えたら定期的に検診をする、これだけで多くの命と尊厳が守られる事実がある。副反応があるのも事実だが、接種のメリットの方がデメリットを大きく上回ると私は感じる。しかし、専門家でもない私が接種を推奨する事は出来ない。ここでは子宮頸がんワクチンについて調べる事をお願いしたい。副反応はどのような症状で、どれくらいの確率で起こるのか。他の国がどのくらい接種しているか。子宮頸がん罹患した人の声を聴いて欲しい。

調べた内容をあなたの周りの大切な人に伝えてください。妻、娘、孫、ひ孫、玄孫、恋人、元カノ、友人などと一緒に話し合ってください。悲しい思い、苦しい思いをする人を少しでも減らすためにご協力をお願いします。

一つ言い忘れました。市内の接種可能な施設は『青葉クリニック』『浜医院』『中田小児科クリニック』しかありません。他の医療施設も登録をしていただけるとメチャメチャありがたいです。どうかご検討をお願いします。

☆接種を希望される方は事前に健康づくり課にご連絡ください。

健康づくり課 Tel 0479-63-8711



今後の課題

『消防合併分署と道路』

海上分署と飯岡分署が合併して新設されます。場所は蛇園の野球場に決まりました。設計と調査が進行しています。懸念事項は道路の完成の目途がたっていない事です。飯岡バイパスから海上の旧役場方面に繋がる道路なのですがトンネル工事はもうすぐ完成しますが、途中の道がまだ繋がらないそうです。新分署に移ってからも道路が完成しないと現在の細い道を使う事になります。海上方面への出動が少し遅れるのではないかと心配しております。出動に問題はないと回答がありましたが、出来る事なら新分署に移動する前に道路が完成してくれる事を願っています。関係者の皆様のご尽力とご協力をお願いします。

『学校再編』

学校の再編が協議され始めました。現在の中学校5校を3校に、小学校15校を7校にする計画です。各学校で説明会→アンケート→地域検討会議を経て代表者会議→準備委員会と進んでいきます。この過程で素案とは違う意見が出て採決のテーブルに乗らないことに不満が出ています。専門家や関係者が話し合ってた素案が一番ふさわしいのかも知れませんが、会議や説明会に参加した当事者の思いもあります。「適正規模が」「複式学級が」で門前払いするのではなくA案、B案それぞれのメリット、デメリットを示した上で採決をして欲しいです。変える余地がない場合は、最初からはっきりとそう言って欲しいです。

『熊野神社式年神幸祭』

12年に一回の祭りが90回も続いている事に驚きました。その伝統ある神幸祭に少し携わる事ができて光栄です。とても素晴らしいお祭りですが、周知が弱いので知らない市民も多かったようです。次回は事前に発信して市を盛り上げるコンテンツにしたいです。【写真は10月8日 お浜降り】



この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

前号で警察の仕事について批判的な記事を書きましたが、感謝しているからこそその苦言でした。不快に感じた方に対してお詫言申し上げます。警察には小さい頃からお世話になっておりましたので尊崇の念はあります(；・∀・)

白髪が増え、頭頂部が薄くなった。清々しいくらい老いが進んでいる☆

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp

令和5年11月 第9号

